

参加者  
募集中!



令和7年度 第8期  
つなぎの学び舎

「つながる」コツを学ぶと、活動って元気になるね!

まちづくり活動する人を応援したい!

地域の活動がもっと活発になったらいいな!

聞き上手になって周りの人を支えたい!

まちづくりは、  
「一人の20歩」より、「20人の一歩」の方が効果も楽しさもアップします!

そのための上手な話し合いの仕方や魅力的な企画づくりって、慣れてないしよくわからない・・・と感じていませんか?  
そんな方にピッタリなのが「つなぎの学び舎」です。地域活動・PTA・ボランティア・NPO活動など、刈谷のひとやまちを元気にしたいと思っている人が集まって、学び&語り&交流を深めながら、「さまざまな人&団体とつながる力」を育てていける講座です。

募集要項

開催期間	令和7年7月5日(土)~令和8年2月7日(土)まで/全7回
開催場所	刈谷市民ボランティア活動センター 談話スペース (刈谷市東陽町1-32-2)
対象者	刈谷市で自治会・女性の会・子ども会・公民館活動といった地域活動や、ボランティア・NPO活動などのまちづくり活動をしている人。これから活動を始めたい人も歓迎です!
定員	20名程度
参加費	無料
修了の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則4回以上の出席(全7回)と企画書の提出を要件として、修了証を授与します。</li> <li>修了された方には、「認定つなぎびと」として「まちづくりコーディネーター」へ登録し、まちづくり活性化に向けて活躍していただくことを期待しています。</li> <li>※詳しくは、刈谷市ホームページ「まちづくりコーディネーター登録者募集!」をご覧ください。 <a href="https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/shiminkyodo/kyoson/1004028/1004030.html">https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/shiminkyodo/kyoson/1004028/1004030.html</a></li> </ul>
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>申込用紙内のQRコードまたは、申込用紙に必要事項を記入して、郵送、FAX、メールもしくは直接、刈谷市市民協働課へお申込みください。</li> <li>申込用紙は、刈谷市市民ボランティア活動センター、各市民センターなど公共施設で配布しているほか、刈谷市ホームページからもダウンロードできます。</li> <li>申込期間終了後、書類選考を行い、その結果を全員にご連絡いたします。(6月下旬予定)</li> </ul>
応募締切	令和7年6月16日(月) 必着

# 「つなぎの学び舎」は、こんな講座です。



## ① 楽しくって、具体的

さまざまな人・団体とつながりをつくる上で基本になる「話を引き出す」「企画する」「情報を伝える」といった役立つ技術が学べます。

講師やゲストは、まちづくりの実践者です。具体的な経験に基づいて学べます。また、講義を聞くだけでなく、グループで話し合ったり、自分の経験を振り返ったり、地域のNPO・地縁組織からお話を聞いたり…。そんな体験を含んだ学びを通して、これからの活動のヒントや目標が自然に見えてきます。



## ② 仲間や応援者に、出会う

これまで、老若男女はもとより、地域の役員、スポーツやパソコン等の指導者、防災や子育て等のNPO・ボランティア活動のメンバー等、多彩な活動者が参加しています。普段とは異なる人の輪が広がります！

つなぎの学び舎の先輩方とお話する機会もあります。さまざまな人との出会いや参加者同士のつながりによって「参加者や担い手集めて困った時、応援してくれた」という声もよく聞かれます。



## ③ プランづくりで、夢を形に！

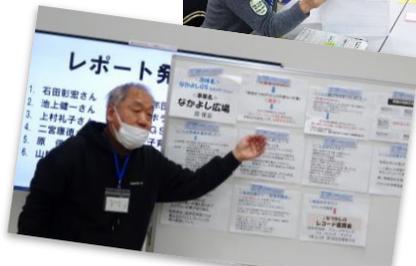
最終回では、「こんなことをやってみたい!」という想いをプランにして発表します。新たな企画でも、今までの活動に(少しだけ)工夫を加えた内容でもOKです。プランをつくることで、実現に一步近づくことができます。

### 〈過去の受講者が発表したプランの一例〉

- ★ウキウキワクワク元気、笑顔、希望あふれる刈谷まちづくり
- ☆年は取ったがまだまだイケル! 余生はボランティア活動
- ★外国人も一緒にやろう避難訓練、みんなで助け合おう地域の輪
- ☆ルールはだれのため(ゴミ集積所の管理)
- ★世代を越え地域活動の楽しさを伝え、人の輪を広げる
- ☆遊びながら学ぼうさい「誰もが防災士のたまご」  
～防災は日常の応用～
- ★こども同士、保護者同士のゆるいつながりづくり『こどものまち』
- ☆ヤングケアラーの今を知る～あなたが繋ぐ支援の糸～

## ④ 自分にも、他者にも活かせる

これまでのつなぎの学び舎 修了生は、自身で発表したプランに取り組んでいたりと、学び舎でのご縁から他の活動の協力に回ったり、自分の知り合いに声をかけてつながりづくりに一役買ったりと、大小問わず、学んだことを様々な形で活かしています。



### まちづくりコーディネーターとは？

まちづくりコーディネーター(通称:まちコ)は、刈谷市民の誰もがいきいきと輝いて暮らせるまちにしていけるためのお世話役です。「まちづくりを“他人ごと”にせず、“自分ごと”として取り組む人を刈谷で広げる工夫をしていくひと」「地域活動やボランティア・NPO活動等を行っている団体同士、また、企業や大学等とのつながりづくりをサポートするひと」です。刈谷市では、そんな「つなぎびと」となって、魅力的なまちづくりを進めていきたい人たちが出会い、学びあう「つなぎの学び舎」を実施しています。

詳しくは、QRコードからご覧ください。  
※QRコードは、デンソーウェーブの登録商標です。



<https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/shiminkyodo/kyoson/1004028/index.html>

# 講座内容

まちづくり活動の企画や運営の仕方、話し合いにおけるファシリテーションなど、地域の会議や行事の開催といった様々な機会に活かせるスキルを楽しく学びます。

## 【第1回】まちづくりの想い、聴いて語ろう

7月5日(土) 13:30~16:45

刈谷でまちづくりを実践している、まちづくりコーディネーターなどから、「つながりづくり」の大切さを学びます。その後、受講者同士が知り合い、各自が取り組んでいること/こんなことやれたらいいなと思う夢をざっくばらんに語り合います。

## 【第2回】話し合いの「ファシリテーション」とは

8月2日(土) 13:30~16:45

まちづくりでは、一人ひとりのつぶやきを組み合わせることでグループの合意を醸成する話し合いが大切です。体験を通して、ファシリテーションの心構えや基本スキルを学びます。

## 【第3回】まちづくり活動の現場から学ぼう

9月6日(土) 13:30~16:45

暮らしやすいまちづくりを担う「自治会・公民館活動」、新しい社会課題に取り組む「NPO・ボランティア活動」など現場のお話を伺い、まちづくりの喜び・苦勞について学びます。

## 【第4回】まちづくり活動の企画をたてよう

10月4日(土) 13:30~16:45

自分のやりたい活動が、地域に必要とされる活動になり、みんなが楽しく参加できる活動にするため、まちづくり活動の企画のコツを学び、自分が関わっている(関わりたい)活動の魅力アップを考えます。

## 【第5回】話し合いの「場づくり」とは

11月1日(土) 13:30~16:45

講義や一方的な情報提供にとどまらず、参加者がより学びを深め、創造的に話し合える「場づくり」とは何か、どんな手法が使えるのか、また、第7回企画発表に向けたプレゼン手法(KP法)も学びます。

## 【第6回】つながりたい! 広報の仕方考える

12月6日(土) 13:30~16:45

企画した活動への参加者募集やボランティア募集など、伝えたい人々に伝わるための広報の仕方考えます。

### 【実習】企画書作成、発表準備

講座での学びを活かして、自らが関心ある身近な出来事や課題解決のためのまちづくり活動、または話し合いの場づくりを企画立案し、最終回に発表します。企画書を作成する上で、参考となる事例の調査(インターネットや市民ボランティア活動センター等を活用)を課題とします。

## 【第7回】わたし発のまちづくりを提案しよう

2月7日(土) 13:30~16:45

講座での学びや仲間との出会いを活かして、自ら取り組んでいる/取り組みたいまちづくり活動、または話し合いの場づくりの企画案をまとめ、発表します。そして、今後は「つなぎびと」としてどう行動していくか宣言をします。

## 講師紹介



### 第1回講師

こめだ まさひろ

**米田 正寛さん**

刈谷市民ボランティア活動センター  
センター長



40歳の時阪神淡路大震災が発生し、3日後に単独で現地へ。東日本大震災では、次男とともに被災家屋復旧活動を行う。2016年の熊本地震の避難所でNPO法人愛知ネットと活動をともにし、2ヶ月後に愛知ネットの職員となる。現在は、刈谷市民ボランティア活動センターで働くと共に、「米こめ倶楽部」や「どろん子道場」「輪〜ど・ピレッジ小垣江」の代表を務める。

### 第4回講師

いけだ てつや

**池田 哲也さん**

(一社) 地域問題研究所  
事業部長



1999年に(社)地域問題研究所に入所し、地域コミュニティの活性化や参加型まちづくり、地域福祉、子育て支援などの調査・研究に携わる。近年は、名古屋や愛知県などの老人クラブ連合会の研修や方針づくり、子ども会活動の活性化、東三河における歴史や環境美化をテーマにした関係人口創出なども支援している。自身も愛知県岩倉市にて、市民活動団体の代表として町内会活性化の取組を実践中。

### 第6回講師

おだ もとき

**織田 元樹さん**

(特非)ボラみみより情報局  
代表



1999年7月「ボラみみより情報局」を設立。ボランティア情報誌「ボラみみ」を1万部発行し地域のスーパーや書店など700箇所無料で配布。物資寄贈、広報物を制作、イベント・研修、相談など、ボランティアやNPOに関わる事業を展開。

### 全体ファシリテーター

第2回、第5回講師

いなほ ひさゆき

**稲葉 久之さん**

フリーランスファシリテーター



大学で国際開発学を学び、青年海外協働隊、NGOなどアフリカで5年間活動。その後、国内まちづくりNPOや地方創生事業に従事し、2017年からフリーランス・ファシリテーターとして活動。大学の非常勤講師(愛知淑徳大学、金城学院大学、日本福祉大学、南山大学、名古屋市立大学)、(特活)アイキャン理事。

## 会場 (全回共通)

刈谷市民ボランティア活動センター  
談話スペース (刈谷市東陽町1-32-2)

## 受講者の声

これまでに「つなぎの学び舎」を受講した人は、延べ188名！  
受講者とまちづくりコーディネーターの派遣を依頼した方の声を紹介します。



松尾 友美さん

第2期修了生／まちコ活動歴10年

一番印象深かった講座は、企画書づくりです。仕事以外に活動をしていない中で、企画書をどのように書こうかと思っていました。ですが、写真の撮影方法を学んだことを活かして書くことができました。また、まちづくり活動に参加するようになった際に、企画書づくりで学んだ方法から自分の考えを整理できるようになりました。



桑畑 忠則さん

第5期修了生／まちコ活動歴4年

つなぎの学び舎は、仲間との出会いの場です。「まちづくり」「つなぎ」というキーワードが気になって参加しましたが、同じような志を持つ人が集まる場だと思います。講座だけでなく今後の活動でもご縁のある仲間の輪が広がる場でした。



岡 由香さん

第3期修了生／まちコ活動歴8年

スキルだけではなく、人との関わり方も学びました。学校や会社などではない、「なにかしたい」と思う気持ちで集まる場では技量や熱量が必要であることを学びました。先輩のまちコなどの協力を得て受講する中で、「自分から動かなければ何も変わらない！」という思いに変わり、自分の努力が形になったことで達成感を味わいました。



飯島 明子さん

第6期修了生／まちコ活動歴2年

つなぎの学び舎では、みんなで考えたり、自分の考えを発表することで、自分は何がやりたいのか整理できました。その上で、周りの支えやチームワークが大切なことにも気付きました。これからは、学んだことを活かして、人をつないだり、支えられる人になりたいと思っています。

## まちづくりコーディネーター 派遣依頼者の声



鈴木 勉さん

第7期修了生  
重原自治会長、保護司、防災士

「元気な地域応援交付金」を活用する際に、住民会議にまちコさんをファシリテーターとして派遣していただきました。住民会議を通して、まちコさんは、皆さんの意見を引き出し、自分以外の意見も聞き、みんなで答えを出すために手助けを行う人であると体感しました。

それをきっかけに「つなぎの学び舎」を受講し、今では重原地区を拠点に、まちコの実践として大好きな重原地区等で活動を行っています。



岡本 眞幸さん

元 小山自治会長

コロナ禍をきっかけに、各地域の問題点についてアンケートを実施した結果、どの地域も似たような課題・問題を抱えていることがわかり、それらを解決する手助けとして、まちコさんの派遣を市民協働課へ依頼しました。まちコさんには、マンガラートを活用して地域の問題を一緒に考えるワークショップを行っていただきました。

ひとつのグループでは、「ゴミステーションが汚い」という問題から、ゴミ出しルールの手順書を作成することができました。まちコさんの協力で、地域の問題を解決するきっかけになりました。参加者からは、「問題解決の手順が分かり易かった」「色々な意見を聞くことができた」「非常に参考になった」等、まちコさんたちに感謝する言葉が多く聞かれました。



ワークショップの様子。まちコさんと一緒に、考えました！

## 申込・問い合わせ先

刈谷市役所 市民協働課 〒448-8501 刈谷市東陽町1-1

【TEL】 0566-95-0002

【FAX】 0566-27-9652

【E-mail】 kyodo@city.kariya.lg.jp

【HP】 <https://www.city.kariya.lg.jp>